

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

## こいす1さいじクラス便り

令和5年2月14日（火）

山神 寿江



12日のお楽しみこども会へのご参加ありがとうございました。大好きなお父さん、お母さんから離れる際に涙が流れる子ども、すんなりと私たちのもとに来てくれる子どもともいましたが、涙なく舞台に立てた子どもたちの姿に成長を感じます。舞台上では、いつも通り、元気いっぱい、のびのびとマイペースな子どもたちの姿に私自身も嬉しく、また楽しい時間を過ごさせてもらいました。日ごろ遊んでいる大好きなわらべうたを楽しんでいる姿、また今の子どもたちの姿を感じていただけたら嬉しい限りです。昨日アンケートを配布しています。来年度の参考の為にも率直なご意見・ご感想をお聞かせください。ご参加ありがとうございました。

## やる気十分！～挑戦しようとする気持ちを大切に～

1歳児で過ごすのも残り1ヶ月半となりました。4月に、「よろしくお願ひします。」と挨拶をしたのが昨日のように月日の早さを感じます。最近では着替えや排泄面での子どもたちの成長を感じます。好きな服の好みも出てきており、午睡前の着替えでは「この洋服で寝たい」と自己選択する姿。自分でパンツやズボンを履き、ボタンはめをしようと挑戦する姿、「一緒に行こう」とトイレに行き便器に座ることが増えてきたり、トイレに行き「おしっこでたよ」と元気にかえってくる姿、自分で靴を履こうとする姿など、子どもたちと過ごす中でたくさんの成長や挑戦しようとする姿が見られ、成長を感じます。また衣服など上手く出来ないと「手伝ってください」と自分で言葉や仕草で伝えてくれます。

一人ずつやる気やタイミングも異なります。今の子どもたちのやる気を大切に、待つという事を心掛けながら、まずは自分で挑戦することを大切にしていきたいです。丁寧に関わる中で「出来た」という達成感を感じ、自信、次なる意欲に繋がるように心がけ過ぎしていきたいです。ご家庭でも自分でしようとする姿や、「いやだ」など思う存分自分の主張を出している子どもたちだと思います。ぜひお時間あるときは「待つ」という事も意識していただけたらと思います。私自身子育て真っ最中の一親として自分自身に余裕がないと「早くして」など声をかけてしまっています。頭では「待とう」と思っているもいざとなると「待つ」という事の難しさを感じます。しかし自分で挑戦しようとする姿など待つことで「自分で考える、頭を使う」「体験する」「できたときの自信」に繋がります。お仕事や家事、育児とお忙しいなかとは思いますが、今の子どもたちの姿は今しかありません。子どもたちと一緒に“今”を楽しんでいただけたらと思います。

最近は、段ボールで  
車を作ることも  
大好きです☆☆☆





<お知らせ>

・15日(水)はお弁当の日です。一品はほうれん草か、白菜です。リュックサックの中にお弁当・水筒・シート・おしぼり・スプーンを持たせてください。登・降園用の靴と園庭遊び用の靴と2足を持たせてください。



~~~~~  
苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。  
受付担当者 主幹保育教諭 豊永 祥子 解決 責任者 園長 中根 賢誠  
第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峯 友理子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)  
~~~~~